

R6 年度「生徒自ら行う学習環境整美事業」①

「学校の中庭を楽園に！」学校菜園で学ぶ園藝人類学基礎講座

定時制 1、2 学年および 3 学年有志 計 22 名

本事業は、第二次世界大戦後、イギリスのトッドモーデンという町で起こったインクレディブル・エディブル運動（公の土地に人々が自由に食べられる野菜を栽培する活動）を学習し、この素晴らしい運動を長野高校という学びの場で実践し、そこで生活する人々の心を癒し、学校全体の活力を向上させる一助としたいという生徒の思いから始まった活動である。

具体的には、草が繁茂する中庭及びテニスコート横の空き地（昨年度に造成した横の空き地）に、石灰質のブロックを積み上げたガーデンを造成し、誰もが自由に食することができる果樹（マルベリー、レッドガーランド）を植樹し、整美した。

本事業のお陰で、定時制の生徒諸君が、仲間と語り、土に触れ、果物を収穫するという貴重な体験ができて、気持ちも前向きに、そして明るい表情に変貌している。また、来年、再来年と果樹が成長し、果物の収穫量も徐々に増えるに従い、そこに集う生徒の数も徐々に増え、自由に食しながら明るく語り合っている様々な生徒の姿を思い描いていた。生徒諸君は、そんな夢を実現すべく“エディブル・ワンダー・ガーデン”の HP を立ち上げ、ガーデンの趣旨を外部に発信している。

1. 段取り確認

2. ガーデン枠組み造成



3. 土入れ

4. 植樹（マルベリー、レッドガーランド）



5. エディブル・ガーデン完成

